

# 大和電機工業 初代女王へ結束

## 日本女子ソフトリーグ4日から順位決定節

日本女子ソフトボールリーグの順位決定節は4日(金)～6日(日)に茨城県希望ヶ丘公園であり、大和電機工業が今季再編されたリーグの「初代女王」の座を懸けて大一番に臨む。主将の車亜紀子は「チームが結束して今が一番いい状態。優勝を狙えるだけの力は備わっている」と士気は高まっている。

昨年1部のチームが中心となる「JDリーグ」新設に伴い、



最終節へ向けた練習の前に輪になって話し合う大和電機工業の選手

### 4チームの争い 指揮官「1点差勝負になる」

再編された今季の日本女子リーグは、12チームが2セクションに分かれ、4～10月まで2回戦総当たりと交流戦の計13試合を実施。大和電機工業は、開幕から8連勝と好スタートを切り、後半は失速したが二つの不戦敗を含む9勝4敗の2位に入り、1～4位決定戦に進む。

今季は昨季の主力が多く引退するなど世代交代が進んだため、「総力戦」で勝負。経験を積むことを重視して多くの選手を起用し、杉野公英監督は「新加入選手も相当成長した」と全体の底上げを実感する。既存戦力も活躍し、新海雪奈は5割超えの打率と16打点でセクショントップに輝き、投手陣も大串都未希が防御率で1位となる0.91を記録した。

順位決定節ではまず、各セクション2位までの4チームが総当たりで競い、上位2チームが優勝決定戦に進む。別セクション1位で7月の全日本実業団選手権決勝で敗れた静甲などがライバルになり、「実力は拮抗(きつこう)している。1点差の勝負になる」と杉野監督。大串は「投手戦になることは目に見えている。勝ち切るピッチングをしたい」と意気込む。